



# 5月 かせのたより

令和5年5月1日（月）  
尚徳福祉会 井荻保育園

新しい生活や環境にも慣れ、友だちと一緒に楽しそうに活動しているかせ組さん。園庭や散歩先の公園では虫探しに夢中になり、「ダンゴムシこんなに見つけたよ!」「アゲハチョウ来たー」と、毎日嬉しそうな声が飛び交っています。たいよう組さんと氷才二をやり、にじ組さんとダンスをするなど、子ども同士で異年齢交流を楽しむ姿も見られるようになりました。

今月は子どもの日バイキングや遠足をはじめ、野菜の栽培や新たな表現活動にも取り組んでいきます。みんなでワクワクする体験を重ねながら、さまざまな感動を共有していけるように心がけたいと思います。

## 今月のわらい

- 基本的な生活習慣を少しずつ身に付け、身の回りのことを自分でしようとする。
- 友だちや保育者と一緒に、工夫したり協力したりしながら遊びを広げる。
- 身近な自然や野菜の生長に触れながら、興味を持ったり感動したりする。

5月の歌「おお牧場はみどり」

## お知らせとお願い

- 絵の具や色水、泥んこ遊びなどの活動が増えてきます。汚れてもかまわないような服装だと、**子どもたちもダイナミックな活動を楽しむことができます。**洗濯も大変だとは思いますが、ご協力よろしくお願ひします。
- 洋服カゴの補充が必要になったときは、連絡帳などでお知らせいたします。翌日、**一組着替えセットと共に、補充用の衣類をリュックに入れて持たせてください。**

## 「はい!」「こうしたほうがいいんじゃない?」「わたしも、言いたい!」

リュック置き場の下に、一人一つずつの引き出しを用意しました。お絵描きや塗り絵、自由工作の作品などを入れるためのものです。その引き出しの中にワミー(写真参照)で作った作品を保管していた人がいました。理由を尋ねると、「おうちの人に見せたいから」という回答があったのです。「保育園の玩具を自分の引き出しに入れちゃってもいいのかな?」とみんなにも質問してみました。すると出るわ出るわ! 「いいと思う。ほくもママに見せたい」「おうちの人に見せたら、玩具の箱に戻せばいいんだよ」「ちゃんとバラバラに片づけたほうがいいんじゃない?」などなど。みんなが**次々に手を挙げる姿**に感動しました。これからも一人一人が自分の考えを述べたり、友だちの意見に耳を傾けたりする機会を設けていきたいと思ひました。

写真左: ワミー。曲げたりつなげたりして遊べる

右: 引き出しに大切にしまったステキな作品



## 「みんなで恐竜ランドを作ろうよ!」「いいねえ」

写し紙で恐竜図鑑を写したり、恐竜塗り絵をしたり、恐竜カードで遊んだり。かせ組さんは今、ちょっとした**恐竜ブーム**です。「恐竜ランドを作って壁に貼っちゃう?」と提案すると、「いいねえ」「『おまえうまそうだな』(恐竜が登場する絵本)みたいな火山にしよう」と話しが進みました。まだ恐竜ランドも出来上がっていないのに、恐竜塗り絵をハサミで切り取って、壁にどんどん貼っていく人もいます。この先どのような展開になるのか、注目していきたいですね。

写真左: 早速貼っちゃった。右: 恐竜ランド作成中

